

徳島市川内中学校：「学力・学習状況」改善プラン

【 現状・課題 】

学 力	<p>1 国語科においては、「読む」能力は「知識」では全国平均に近いが、「活用」が低い。また「書く」能力は「知識」「活用」共に低く本校の大きな課題である。</p> <p>2 数学科においては、「知識」は全国平均を上回っているが、「活用」が低い。しかし昨年と比べると、着実に成果はあがっている。「数学的な表現・処理」は「知識」「活用」共に高いものの、「数学的な見方や考え方」は低く、今後の課題である。</p>
学 習 状 況	<p>1 「家で学校の宿題をしている」生徒は 62.1 %と全国平均の 53.7 %を上回っているが、「家で自分で計画を立てて勉強しているか」の質問には、65.5 %の生徒が否定的な回答をしている。家庭学習に自主的に取り組む習慣をつけさせたい。</p> <p>2 数学の授業で「問題の解き方や考え方が分かるようにノートを書いている生徒」は 89.7 %になり、授業に前向きに真面目に取り組んでいる生徒が多い。</p> <p>3 朝の読書の時間が定着したため、「読書は好きですか」の質問に 84.2 %の生徒が肯定的に答え、「当てはまらない」と答えた生徒はわずか 3.4 %で全国平均の 12.5 %より大きな成果をあげている。</p>

【 目標等 】

(1) 学力について

重点目標：複数の資料から必要な情報を選択し、それを分類整理して、自らの考え・意見を表現する能力の育成する。			
具体的目標	数値目標	具体的方策	改善点
・基礎的基本的な知識・技能の習得を行う。	・授業が分かるという生徒が7割以上になることを目標に授業改善をする。	・基礎学力を充実するため、校内研修を通して、TTの効果的な活用やわかる授業をめざした授業改善を行う。また、習熟度に対応した個別指導を行う。	・教科部会や学年会でさらに研修を積み重ね、一人ひとりに対応した学習指導をめざしたい。
・思考力、表現力の育成を図る。	・全員の生徒が自分の考えを発表できるようにする。	・全教科の授業の中で、根拠を明らかにして自分の考えをノートに書かせたり、説明をさせる。 ・課題について、調べた結果や自分の考えをノートにまとめさせたり、発表させたりする。	・積極的に発表している生徒が特定の生徒になりつつあるため、授業展開をさらに工夫したい。

(2) 学習状況について

重点目標：授業の学習準備をきちんとして、授業に集中して取り組ませる。			
具体的目標	数値目標	具体的方策	改善点
<p>・家庭学習を習慣化する。</p> <p>・チャイム着席ができる。</p> <p>・学習準備がきちんとできる。</p>	<p>・家庭学習を1日1時間以上する習慣を身につけさせる。</p> <p>・始業チャイムと共に授業がスタートできるようにする。</p>	<p>・保護者と協力し、家庭学習と次の日の学習準備を習慣化する。</p> <p>・教員はチャイムと共に授業が開始できるように、早めに教室に行き、授業の準備をしておく。</p>	<p>・学習習慣や学習準備がほとんどできていない生徒に対して、さらに家庭と連携を深めながらきめ細かな指導をしていきたい。</p>